

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 田邊 裕彦	電話番号	0852-22-5132
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	畜産経営体支援指導事業		
目的	(1) 対象	畜産経営体	
	(2) 意図	恒常的に安定した畜産経営が行えるよう支援する。	
事業概要	県内の畜産経営体に対し、農畜産業振興機構が実施する畜産振興事業を活用するとともに、島根県畜産振興協会が実施する経営技術等の指導事業により、畜産経営を支援する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			経営の安定した畜産経営体数	目標値		170.00	170.00	170.00	170.00
式・定義	畜産経営に係る認定農業者数（目標所得400万円以上、年間労働時間2,000時間以上）	実績値	154.00	163.00	151.00	149.00			戸
		達成率		95.90	88.80	87.70			%
		指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
式・定義		目標値		0.00	0.00				戸
		実績値	0.00	0.00	0.00				戸
		達成率		0.00	0.00				%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	515,036	2,019
うち一般財源(千円)	472,449	271

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

畜産に係る認定農業者数は、H24年度に一旦は増加したものの、H25年度、H26年度は減少傾向にある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

経営安定関連対策事業、生産振興事業等により畜産農家の経営安定に寄与した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

畜産に係る認定農業者の経営体数が、伸び悩んでいる。

②困っている状況が発生している「原因」

飼料価格の上昇等により、畜産経営を取り巻く状況が年々厳しくなり、農業所得が十分ではない経営体が増加したり、高齢化による畜産農家の減少がある。

③原因を解消するための「課題」

厳しい状況においても、十分な農業所得が可能となるような安定的な畜産経営の育成。新たな担い手の確保。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

経営改善を図るため、コスト削減を進める一方で、各種新技術（受精卵等）を活用することにより、畜産物の付加価値を高めていく。経営安定関連事業を活用し、経営の安定化を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）